

2025 駿台高校受験公開プレテスト 出題のねらい【英語】

今回は中3の最初のテストということで、これまでの学習内容を確認する基本的な問題を中心に
出題しました。

【1】 長文読解問題（説明文）

「郷に入っては郷に従え（ローマに入れば、ローマ人たちがするようにせよ）」ということわざの持つ
意味とこのことわざが現代において、どのような場合に当てはまるかを述べた文です。問2の和訳は、It
が指す具体的な内容を明らかにして訳す問題で、その内容が的確に書かれているかがポイントになります。
さらに述語部分の make O C「OをC(の状態)にする」の訳し方もポイントになります。この部分は様々な
訳が考えられるので、内容が概ね合っていれば可としています。easier and more enjoyable は比較級の意
味「より[もっと]～」で訳す必要があります。問5の和訳は、<have (something) to do with～>「～と（何
らかの）関係がある」の訳がポイントになります。“Rome”は「ローマに関することわざ[格言]」、あるいは
「ローマに入れば、ローマ人たちがするようにせよ」等と訳しても可としています。問8の適語句選択は、
空所8の前にある difficult global problems「困難な地球規模の問題」の一例として適切なものを選びます。

【2】 長文読解問題（物語文）

ニューヨーク州に住む若い夫婦がボストンでの自動車旅行から帰る途中で、通りがかりの親切
な老夫婦の家に一晩泊めてもらうが、その家は3年前にすでに火事で焼けて、その家の老夫婦は
亡くなっていることを後になって知る、というホラー話です。問1の整序英作文は、<It is ～
to…>「…することは～だ」の構文の知識を問う問題です。問4の適語選択は、「老婦人の目に
留まるように、（御札の）50セント硬貨を食卓の上の真ん中に置いていった」と判断し、「目に
留まるように」は「見落とすことができないように」と言い換えられるので、空所3に入る語と
して miss を選びます。問9の内容説明は、本文の最後の saw the shiny fifty-cent coin in the
center of a burned table の内容が書かれていることが必須になりますが、「50セント硬貨」を単
に「お金」と書いても可としています。ただし、その「お金[50セント硬貨]」がどういうお金な
のかという説明が必要です。

【3】 長文読解問題（適語選択）

全体的には難問はありません。空所2は「彼女は（どこで車のキーを失くしたのか）わからなかった」と考え、had no idea の idea が入ると考えます。have no idea は「考えがない」ではなく、「わからない、知らない」という意味になることをしっかり覚えておきましょう。空所5はその後に said があるので、「笑い出して言った」と考えるのが適切なので、動名詞 laughing を選びます。空所6は<pick 人 up>「(迎えに行って)人を車に乗せる」の知識を問う問題です。

【4】 共通語問題

このような問題は、まず2つの英文のどちらかで答えの見当をつけます。絶対に1つの英文だけで判断するのは避けるべきです。例えば、2の正解は back ですが、下の英文だけでは back が入るとは確定できません。上の英文の call~back「~に後で電話をかけ直す」から、下の英文は back「背中」が入ると判断でき、back という答えが確定します。

【5】 適語（句）選択問題

2の気温を尋ねる疑問文は、What is the temperature?となります。これは What is the price?「値段はいくらですか。」などの文と同じように考えます。さらに2では、「マイナス3度」という英語は、below「~より下に[の]」を用いて、three degrees below zero「0(ゼロ)より3度下の」とします。5の空所bに入る語は、「何時までに」という意味になると判断して、イの By を選びます。until「~まで」（継続）と by「~までに」（期限）の意味の区別はよく出題されるので、覚えておきましょう。

【6】 英作文問題

3は、まず日本語では「どこ」となっていますが、場所を尋ねる疑問文ではなく、「10ヵ国のうちのどれ」という、国を尋ねる疑問文になるので、Which が文頭にきます。直後に of があるのも大きな手掛かりになります。次に、空所の直後に複数形の 10 countries があるので、日本語の「この」は単数の this でなく、複数の these になるはずです。さらに、「最も多くの」は空所の直前の the を伴って、much の最上級の most になると判断できます。more, most は beautiful や dangerous といったつづりの長い形容詞の前に来て、比較級、最上級を作る語という印象が強いですが、many[much]「たくさんの」の比較級、最上級でもあることを再認識する必要があります。4は as~as possible「できるだけ~」の知識があれば、簡単に答えられる問題です。as~as S（主語）can = as~as possible の知識をもう一度確認しましょう。

2025 駿台高校受験公開プレテスト 出題のねらい【数学】

中学2年生までに学んだ内容の様々な単元から出題しました。忘れてしまっていることはないか、今のうちに確認しておきましょう。間違えてしまった問題も、計算ミスなのか、読み取る力が足りていなかったのか、はたまた時間配分が悪かったのかを思い出しながら、よく復習しておいてください。まだ実際の入試問題を見たことがない受験生も多いでしょう。入試本番では、中3の範囲を用いずに解ける問題や基本問題も少なからず出題されますので、まだ先のことと思わずに、入試を意識した学習に移行していくきっかけになったらと思います。

【1】 計算問題（1次方程式、単項式の乗除、連立方程式）

(1)、(2)は1・2年生の範囲の計算です。分数の四則計算や分数を含んだ式の計算はミスをしがちですから、たとえば早めに分母を払ったり、意識して途中式を丁寧に書いたり、工夫をしていきましょう。今回から連立方程式が加わりましたが、(3)(4)とも難しめの問題です。易しい問題と手法は変わらないので、落ち着いて算出しましょう。

【2】 小問集合（1次関数、反比例、平行四辺形、三角形の合同、球）

(1)は、1次式と反比例が登場します。両者を一気に考えることなく、 x と y 、 y と z に分けて1つひとつ値を求めていきましょう。決して難問ではありません。(2)は、面積を文字式で表す問題です。正多角形や平行四辺形の性質を用いることを前提としています。こういった問題では、「長さが等しく見える」「直角っぽく見える」「合同っぽく見える」といったことが起こりがちです。当てずっぽうはよくないですが、その感覚をとっかかりにして検証していくのも1つの手かと思います。(3)の式の導出方法は複数あります。式を立てるだけでなく、しっかり整理して答えましょう。(4)は長めの問題文です。球の表面積の公式は忘れていないでしょうか。その都度値を計算してしまうのではなく、半径 OA 、 OA' を文字で置き、整理してから具体的な値を計算する方が楽です。

【3】 平面図形（平行線と角，二等辺三角形の性質，円の性質）

条件に合った円の作図についての問題です。(1)は証明の穴埋め，(2)，(3)も選択問題になっています。問題文中の図に実際に円をかきたして，順を追って確認してみてください。

【4】 箱ひげ図

箱ひげ図を題材とした問題で，(1)は作図形式にしました。四分位数・四分位範囲といった言葉の意味，また求め方についても必ず確認しておきましょう。(2)は条件に合うかどうか試行錯誤が必要な問題で，難問です。箱ひげ図は近年国私立高校でも出題が増えていますが，統計的な考察だけでなく，箱ひげ図を利用した複雑な論理パズルのような問題が出題されることがあります。

【5】 確率

袋から取り出したカードに書いてある数の大小について，確率を求める問題です。まずは分母を正しく算出できていたか，確認しておいてください。重複や数えもれがないように場合分けをすることがコツになります。

【6】 関数と図形（1次関数のグラフ，回転体の体積，三角形の合同）

(1)の空欄あは，直線 m が直線 n と平行なときの傾きを求め，空欄いは，点 A を通るときの直線 m の式を求めます。単にそのように書けば答えられた人も多かったかもしれません。文を読んで理解する力も見えています。(2)(i)は回転体の体積を求める問題で，計算量も多いです。解答解説集に書かれている， $\triangle OAC$ と $\triangle OBC$ の差で考える方法をマスターしてほしいです。(2)(ii)，(iii)も(1)同様，まずは状況を整理することが大切です。傾きが一定のときの直線や，定点を通るときの直線がどんな動きをするのかを考えましょう。

2025 駿台高校受験公開プレテスト 出題のねらい【国語】

新年度、中3になって最初のテストということで、初めて公開テストを受験する生徒も想定して取り組みやすいように作成しました。客観式記号問題を中心に、記述題は同じ内容の言い換えを書かせるもの、二つの事柄の違いを書かせるものと、比較的書き易くまとめ易いものとし、次回以降の練習的な位置づけとして出題しています。目標点は55～65点。

【一】 漢字の読み書き

よく出題される基本的なもの（(1)・(6)・(7)等）、間違えやすいもの（(5)・(8)等）、意外に書けない読めないもの（(2)・(4)等）などいろいろ取り混ぜて出題しました。「枝葉末節」は言葉の意味を知っていれば漢字が浮かびやすいでしょう。「盤石」の読みも「ばんせき」としないように注意しましょう。

【二】 随筆文の読解……村田沙耶香「気持ちよさという罪」

芥川賞を受賞した経歴を持つ人気作家の随筆からの出題です。長さの関係で途中の一部分を省略していますがほぼ全文を取りあげました。筆者の体験とその思いをどこまで読み取れるかがポイントとなります。記述問題はその最初の体験を説明させることを求めました。問題の意図を汲み取って求める答えを導き出すことがちょっと難しかったかもしれません。得点できなかった人は解説をよく読んで、何を求めている問題か理解してください。そのほか語句の意味や表現の特徴、状況の把握、心情の分析などさまざまな観点から出題しています。

【三】 論説文の読解……鷲田清一「支えあうことの意味」

入試では頻出される学者の社会における人間のあり方について論じた文章からの出題です。テーマとしては難しそうですが、それほど難解な文章ではないので取り組みやすいはずです。段落ごとに正確に内容を読み取り筆者の主張を理解することをねらいとしています。記述力だけでなく紛らわしい選択肢にひっかからないようにする力をつけていくことを求めました。記述問題も本文に示されている表現をそのまま使えるようにしているので、字数以内にうまくまとめる練習として取り組んでもらいたいです。選択肢を選ぶ問題と記述問題がバランスよく得点できていれば、しっかり読み取れていると言えるでしょう。

【四】 古文の読解…………… 『発心集』第五集十五「正算僧都の母、子の為に志深き事」

入試にも頻出の鎌倉時代の仏教説話物語集からの出題です。文脈を丁寧にたどり、人物の会話・行動・心情を理解できるかを確認することをねらいとしています。物語の展開と人物関係をどれだけ理解できるかがポイントです。今回は年度始めの最初のテストなので、その他の知識事項に関する問題は出題しませんでした。今後の対策として古文単語の意味、文学史などをいま一度確認しておきましょう。

【五】 文法

自立語を中心に出题しています。基本的な知識があれば得点できる問題なので、出来なかった人はしっかり復習しておきましょう。